

Komatsu City HONJIN Memorial Art Museum
Special Exhibition

Motohiro KOZAWA

Cry of the Soul

「Motohiro KOZAWA Drawing」 2022.4 Earth+Dallery [Tokyo Kiba] Foto by Mareo SUEMASA



小松市立
本陣記念
美術館 ●

2023

9/23(土・祝) ~ 11/26(日)

小松市立本陣記念美術館
Komatsu City Honjin Memorial Art Museum

小松市立本陣記念美術館特別展

小澤基弘展

~魂の叫び~

「小澤基弘ラクガキ・ドローイング展」 2022年4月 Earth+Dallery (東京・木場) 写真: 末正真礼





1



2

画家はなぜ絵を描くのでしょうか。表現者はなぜ表現を日常とするのでしょうか。小澤基弘は強迫神経症克服のため一本の鉛筆の先端を見つめることから始まりました。英文学者となるため英文科へ進学したにもかかわらず、その後描くことへの切望から美術大学へ入学し直すといった、当初から異例の経歴をもちます。その後は、自身の感性のまま、取りつかれたような思いを払拭する如く描き続けることになります。一方、いわゆる具象画の芥川賞などと言われた安井賞や毎日新聞社の現代美術展などへの出品、度重なる個展等での発表など、作家活動において評価を受けてきた画家です。このような評価に反し、自身はタブローでの大作を描き続け、作品は自身の五感で受けた情報に対し払拭するように表現方法や内容が変化し続けてきました。そして自己解放の道に至ります。表現された作品群はエネルギーに溢れ、私たちに釘付けにし、刺激し、訴えかけます。作品を追って小澤ワールドを紹介し表現の深奥を体感する展覧会です。

Why do artists draw? Why do they choose to express themselves on a daily basis? Kozawa Motohiro began from his practice of staring intently at pencil tips, in an effort to overcome his obsessive-compulsive disorder. Although he had pursued a degree in English Literature, his burning desire to draw led him to re-enroll in an art university instead, distinguishing him as an artist with an unusual academic background. From then, as if attempting to cast away his obsessive thoughts, he began drawing tirelessly while retaining his own sensitivity. His endeavors as an artist has won him much recognition, including the Yasui Award (regarded as the abstract art equivalent of the Akutagawa Prize), and selection for the Mainichi Newspaper's contemporary art exhibition. In response to that he has continued to draw large scale pieces, the mode of expression and content changing according to the sensory information he perceives and endeavors to sweep aside. Work, that has led him down the path of self-liberation. Works filled with energy, which capture, stimulate and appeal to us. This exhibition introduces to you the world of Kozawa through his works, and allows you to experience the depth of his expression.

*Kozawa Motohiro serves on the panel of judges for Komatsu City's Miyamoto Saburo Award for Original Sketch.



3



4



5

- 1:《浮遊する繭》Floating cocoon 2003年
 - 2:《空間切片》Fragments of space 1997年
 - 3:《ゲニウス・ロキ》Genius loci 1999年
 - 4:《時の層》Layer of time 2001年
 - 5:《差異法》Law of differentiation cm 1996年
- 写真: 未正真礼生

毎日のルーティンであるドローイング 9000 枚から、最新の約 1500 枚を公開！



小松市立本陣記念美術館特別展

小澤基弘展

～魂の叫び～

2023 9/23 ~ 11/26
(土・祝) (日)

主催：小松市立本陣記念美術館 協力：小澤基弘

休館日/月曜日 (10月9日は開館)、10/10、11/24

開館時間/午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

入館料/一般300円、高校生以下無料

※20名以上の団体は250円 ※こまつミュージアムパス利用可
※障がい者手帳持参者と同行者1名まで入館料免除
(ミライロIDアプリ提示でも適用)

Komatsu City HONJIN Memorial Art Museum Special Exhibition

Motohiro KOZAWA

Cry of the Soul

Period: 23 Sept (Sat, PH) - 26 Nov (Sun) 2023
Closed: Mondays (except 9 Oct), 10 Oct, 24 Nov
Hours: 9 AM - 5 PM (last entry 4:30 PM)
Admission Fee: 300 yen (free for children up to senior high school)
*Free for those with physical disabilities and one accompanying person, upon presentation of physical disability certificate (presentation of MIRAIRO ID app also accepted)
*Covered under the Komatsu Museum Pass
*Free entry on 15 Oct (Sun, Ishikawa Culture Day)

関連イベント

※最新情報はホームページをご覧ください

- 「親子でラクガキ帖をつくろう！あなたのガシャガシャ物語」
小澤先生と展覧会場を巡ったあと、先生のガシャガシャ物語のよう
に、親子（保護者）でラクガキ帖を描くワークショップ。
日時：11月11日（土）13:00～16:00 [予定]
講師：小澤基弘（画家・埼玉大学教授） 集合場所：本陣記念美術館
開催場所：小松市公会堂1階会議室 対象：親子（保護者）10組
参加費：大人800円、こども500円（入館料・材料費）
持ち物：絵を描く道具（絵具、クレヨンなど）雑巾、タオル、筆記用具、飲み物
申し込み：本陣記念美術館 10月21日（土）～11月5日（日）
電話 0761-22-3384 ※10月23日・30日休館
定員になり次第締め切ります
- 学芸員ギャラリートーク
日時：10月9日（月・祝）、11月3日（金・祝）
11:00～14:00
- いしかわ県民文化の日
日時：10月15日（日）終日無料開放
- One Day コンサート「音さんば」
小松フィルハーモニックが、散歩をするように芦城公園周辺施設
をまわりながら、ミニ演奏会を行います。
日時：10月15日（日）本陣記念美術館は13:20～[予定]

小澤基弘氏プロフィール (こざわ もとひろ 1959~)

画家・埼玉大学教育学部 教授

愛知県生まれ 1983年愛知県立大学文学部英文学科卒業 1988年筑波大学芸術
専門学群洋画コース卒業 1990年筑波大学大学院修士課程芸術研究科修了(芸
術学修士) 1992年埼玉大学教育学部講師(93年助教授、2006年より教授~
現在) 1998年文化庁芸術家在外研修員(パリ国立高等美術学校) 2003年東京
学芸大学連合大学院博士課程助教授(兼職、現在教授) 2005年論文博士(筑
波大学) 2008年西オレゴン大学教養学部美術学科客員教授(9月~12月)
2010年東京大学大学院教育学研究科客員教授(~12年まで) 2017年より中国
江西師範大学美術学院客座教授(~現在) 放送大学客員教授(2017~21年、
23年~現在)

研究者として、認知科学や工学等の知見を学際的に融合することで、絵画表現が創
造性育成にもたらす効果を実証的に研究している。特に主観的素描であるドロー
イングや本能的描画行為としてのラクガキの創造的効果を現在は主たる研究領域とする。
また制作者として40年にわたリドローイングを続けている。2013年第2回宮本三
郎記念デッサン大賞展の記念フォーラムにて基調講演「デッサン & ドローイング - 絵
画の発生もしくは思考の一形態」を行う。その後、第4回展より審査員。「ドロー
イング千枚プロジェクト(のち、ラクガキ1000枚プロジェクト)」ワークショップを全国
展開、小松市でも多数実施。編著書も多数、2020年『ラクガキのススメ』刊行。「現
代日本美術展」「安井賞展」「ドマーニ明日展」「風の芸術展ビエンナーレまくらぎ展」
等のコンクール出品、紀伊國屋画廊、村松画廊等での個展多数開催。アメリカ合衆
国、中国、フランスでも発表の経験をもつ。



小松市立
本陣記念
美術館



- JR小松駅より徒歩15分
- JR小松駅より寺井方面行きバスに乗り、京町下車 徒歩2分
- JR小松駅より市内巡回バス(北コース)に乗り、市役所前下車 徒歩3分
- 小松空港よりJR小松駅行きバスに乗り、昭和通り・西町下車徒歩7分
- 駐車場: 乗用車の方は、市役所前・年金事務所駐車場をご利用ください。

小松市立本陣記念美術館
Komatsu City Honjin Memorial Art Museum
〒923-0903 石川県小松市丸の内公園町19番地
電話 0761-22-3384 <https://komatsu-museum.jp/honjin/>